

〇どこでも積極的にあいさつができる子 〇個性を生かし主体的・対話的に課題解決する子 〇進んで思いやりのある行動がとれる子

北大和小だより

5月号

令和2年5月11日
大和市立北大和小学校
〒242-0001 大和市下鶴間685
ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-kita/>



「できること」を進める

始業式・入学式の4月6日の日だけで、それ以降、児童が登校できない状況が続いています。残念ながら大和市内の新型コロナウイルス感染者数も30名を超え増加にあり、今後の収束が見えない現状に不安が増している状況です。

学校では、学校再開に向けて先生方の感染防止の観点から、日々の健康チェック、在宅勤務を含めた分散勤務を行う中で可能な対応を進めてまいりました。制限のある中で、先生方は担当クラスの児童の様子を心配しながら、再開に向けて、改訂された教科書による教材研究や準備、カリキュラムの再検討、2日おきの学習課題とメッセージの作成など連絡を取り合い行っております。先週は学年ごとに家庭訪問の代替となる地域確認を兼ねて、ドリル系教材や学年ごとの配布物を準備しポスティングを実施したところです。

今後、5月については、先日の報道や市からのPSメールで伝わっているように「休校延長」「その後の授業再開に向けて」の取り組みが行われることとなりました。学校の9月開始の大きな提案などの情報もありますが、現状の計画で学校として「できること」を工夫して行いたいと考えております。

まず、今後、学校再開の方向性が「ある場合は」次の手順を進めることを検討しています。

- ①地域を1/3に分け登校班を運用した分散登校
- ②全学年による登校(給食なし)
- ③通常登校(給食あり)※給食再開を決めてから食材調達の契約・準備に2週間を要するそうです。

つぎに、学習については、今後、登校(在宅)としても、教科書の内容を進めていく方向で、担任(学年)から、「今日の時間割」として、もう少し詳細に学習を提示していく予定です。

また、少しでも、児童との双方向のやり取りを行う手立てを増やそうと、教育委員会、学校とで検討しており、今後、様々な方法について提案をいたしますが、課題も多く予想され試行後のご意見を受けながら進めたいと考えております。ご理解、ご協力お願い申し上げます。

さらに今後、再開の時期により、また、長期休業のあり方など、今後、市の方針により再々検討もあり得ますが、学年として削減できる内容を明らかにしながら、学習内容を精選して順序を変えながらも必要な学習を進めてまいります。1学期の行事は、ほぼ中止または延期ですが、今後、2学期以降も見直しを始める時が来ることも想定しております。

何にしても、健康管理を一番に考え、今「できること」を探して前向きに進むことだと考えます。本校は児童数も多く、学校の少ない電話回線では全家庭への直接の電話連絡が厳しい状況にありますが、平日8:30~17:00までの中で教育相談の場として、緊急の預かりの場としての学校は機能しております。また、「北小こども電話相談室」として学年ごとに児童が優先的に先生に連絡し話ができる時間を設ける予定です。あわせて、274-1171(代表)へお困りの際は是非ご連絡・ご活用ください。